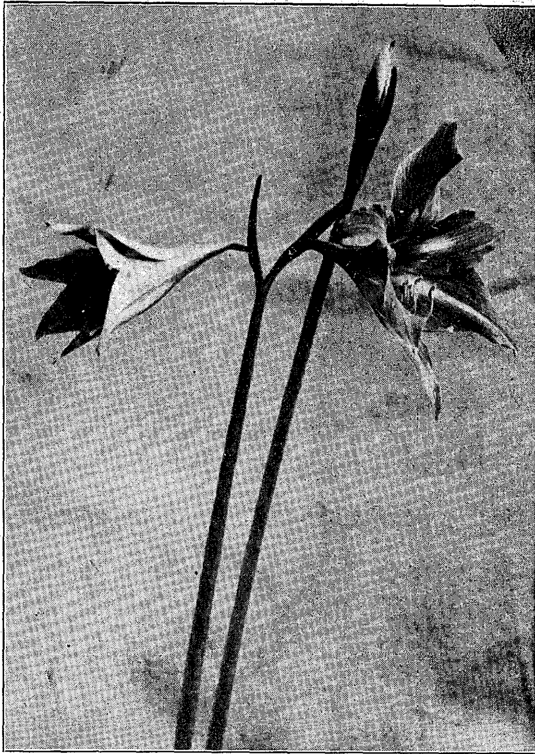
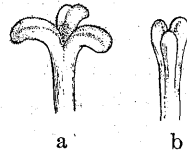
南樺太ニ於テ北ヨリ保惠、樫保、突阻山、相川、瀧ノ澤ト云フ順ニ發見セラレルニ至ツタ。斯ノ如ク本州ト樺太ニアルノデアルカラソレヲ結ブ北海道ニ於テモ當然發見サレナクテハナラヌ事ニナツタ。卽チ同年7月著者ハ朝比奈先生ノ御依賴ニヨリ北海道大雪山登山ノ際特ニコノ地衣ニ留意シテ卡タ所幸ニモ層雲別溫泉ヨリ少シ上ツタ所デ該地衣ヲ發見シ、コノ結果へらどけハ南樺太ヨリ北海道更ニ本州ノ中部迄ト殆ンド國內ヲ縱走シテキル事ガ判ツタノデアル。其ノ後更ニ各地ニ於テ發見サレテ來タノデアルガ本州ニ於ケル限界ハ南部ニ於テハ紀州ノ高野山デアツテソレヨリ南ニ於テハ未ダ發見サレタ記錄ヲ見ナイ。著者ハ昭和11年7月13日京都藥專植物硏究會ノ一行ト大和大臺ケ原ニ採集ニ出掛ケタガ其ノ際大臺ケ原敎會ヨリ約半里下ツタ道路ブチノ朽木ニコノへらどけヲ發見シタ。同ジ近畿ノ高野山ニアルノデアルカラ大臺ケ原ニアツテ然ル可キデアルガ高野山ヨリモ幾分カ南デハナイカト思ヒ本州南部ノ限界ハ今日ノ所大臺ケ原ト云フ事ニナル。著者ハ嘗テ四國九州特ニ杉ノ名產地屋久島等ニ採集ニ赴イテへらどけニ對シテハ特ニ留意シテキタノデアルガ遂ニ發見スル事ガ出來ナカツタ。又他ノ人デ採集シタノヲ聞カナイ所ヲ見ルト或ハ近畿ガ限界デアルノカモ分ラナイ。何レニシテモ大臺ケ原ヨリモ南方デ發見サレヽバ非常ニ愉快ナ事デアリ又興味ノアル事デアル。 (藤川福二郎)

○小笠原島デ栽培スル山慈姑ノ一種

本年3月小笠原島カラ持ツテ歸ツタ山慈姑 (*Hippeastrum*) ノ一種ガ4月上旬東京デ開花シタ。中井敎授ニオ目ニ掛ケルト原種ニ違ヒナイカラ良ク調ベテ見ル樣ニトノ事デアツタ。調ベタ結果本植物ハ **Hippeastrum rutilum** Herbert ナル事ガ分リ未ダ日本デ培養ノ報告ガナイ樣デアルカラ、新ラシクひいろさんじこ (緋色山慈姑) ノ名ヲ與ヘ以下少シク觀察ノ結果ヲ述ベル。〔倘今迄日本ニ輸入サレタ事ノ明カナ同屬ノ植物ハ、*H. equestre* Herb. (金山慈姑)、*H. Reginæ* Herb. (じやがたら水仙)、*H. vittatum* Herb. (紅條山慈姑)、*H. Johnsonii* Herb. *H. aulitum* Herb.、*H. reticulatum* Herb. var. *striatifolium* Herb. (白條あまりりす) 等デアル。此等ノ中最初ノ2種ハ慾齋ノ草木圖說第5卷ニ、最初ノ3者ニ就イテハ本誌第7卷410頁ニ又最初ノ5者ニ就イテハ科學世界第1卷、5號ニ夫々牧野博士ノ說ガアリ、又最終ノモノハ石井勇義氏園藝圖譜第5卷ニ圖版ガアル。〕

本植物ハ花莖ハ高サ 18-32 cm 許、僅カニ扁壓サレ、粉白綠色ニ僅カニ紫色ヲ帶ビ基部デ幅 11 mm 上部デ 7 mm 許アリ中空デアル。苞ハ2片アリ、長サ 5 cm 許デ披針形、緣部ハ內方ニ捲キ込ミ、先端ハ鈍ク、開花後數日間ハ直立スルガ後ニ垂下スル。中ニ絲狀白色ノ小苞2個ヲ有ス。花ハ觀察シ得タ株10數個ニ就キ、イヅレモ2個ヲ有スル。花梗ハ殆ド直立シ、鈍三角柱デ、綠色又ハ稍暗褐色ヲ帶ビ、子房ハ多少點頭シ長サ 11 mm 幅 6 mm 許アリ。花ハ殆ド水平カ又ハ稍垂レ下リ氣味ニ開キ、筒部ハ長サ 2.3 cm 口ノ所ノ廣サハ直徑 1.3 cm 許アリ、綠又ハ黃綠色ヲ呈シ、背面等ニハ赤褐色ノ汚條アリ、花蓋片ノ流下スル事ニヨリ縱溝ヲ有スル。花ハ正面ヨリ見テ左右 11.5 cm 上下 13 cm 許アリ、外片ハ長サ 8.8 cm 狹倒卵形ニシテ幅ハ最上片ニ於テ 4.1 cm 許、後方ニ强ク反轉シ、側片ニ於


全形（×ca. 1/3, 4月20日撮影）



柱頭ノ狀態
a. 開花後7日目
b. 開花後2日目

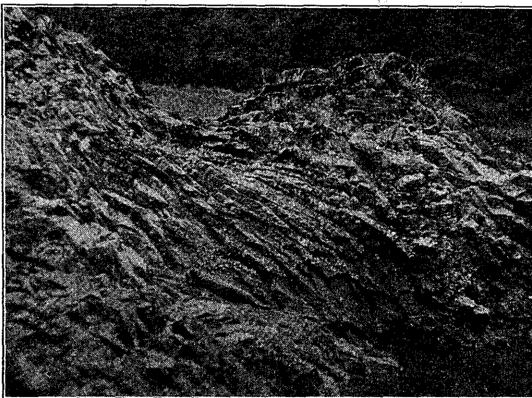
テハ幅 3.4 cm 許水平ニ開出スル。內片ハ外片ニ比シ狹ク、且ヨリ強ク波狀ヲナシ、側片ノ幅ハ 2.7 cm 最下片ハ幅 1.7 cm ニテ披針形ヲナシ、水平ニ出ル。花蓋片ハ皆緋色 (RIDGEWAY: Color Standard and Nomenclature ニヨレバ Scarlet) デソノ上ニ更ニ濃赤色ノ細條アリ、中肋ハ肥厚シテ白又ハ帶綠白色ヲ呈ス。雄蕊ハ長サ 6.6 cm アリ、外片ニ對スルモノハ稍短イ。雌蕊ト共ニ前半ハ紅色デ下半ハ漸次淡綠黃色ニナル。ソノ基部ハ花筒ノ內面ニ流下スルガ、筒ノ口部ニ於テ壁ガ急ニ併シ極メテ僅カニ厚クナツテキル事ノ他、全然平滑デアル。丁字葯ハ白色又ハ淡硫黃色デ時ニ淡ナル紫色ノ汚アリ、長サ 20 mm 許アリ、破裂後ハ 5 mm 許ニナル。雌蕊ハ長サ 9.4 cm 許アリ、花蓋片ト同長デアル。開花ノ始メハ眞直ニ延ビテ先端ハ白ク頭狀ヲ呈スルガ、後ニ前半ハ屈曲上向シテ、先端ハ明瞭ニ3岐スル。花ハ 10–12 日間咲キ續イタ。葉ハ花ノ後ニ出デ輝綠色ニテ光澤アリ、長サ 20–30 cm 許幅 2.2—3.0 cm 許アリ先端ハ鈍ク尖ル。

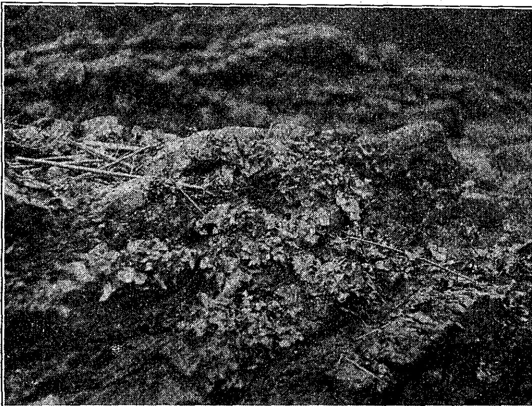
HERBERT ニヨレバ *P. rutilum* ハ花喉ニ nod アリト言ヒ BAKER ニヨレバ同所ニ obscurely coronulate スト言フ。コレハ本植物ト完全ニ一致シナイ點デアル。併シ、花ノ大キサ其他ノ記載ハ完全ニ BAKER ノモノニ一致スル。Botanical Register t. 23 ノ *Amaryllis rutila* GAWLER ノ花ハ本植物ノモノヨリ餘程貧弱デアル。コレハ BAKER ノ時代迄ニ園藝的其他ノ變化ガアツテ花モ少シク立派ニナツタモノト思ハレル。同著ニハ花筒ノ內面ガ completely smooth トナツテキテ本植物ト完全ニ一致スル。蓋シコノ性質ハ本種ニ近似ノ *H. equestre* ニ於テモ時ニ花喉ニ pubescent 又ハ coronulata 又ハ crowned ナドト記載

サレル樣ニ色々ニ變化シ得ルノデアルカラアマリ重點ヲ置ク事ヲ得ズ、シタガツテ BAKER ノ記載トノ食ヒ違ヒハ看過シ得ラレルモノト思ハレル。本種ハブラジル南部ノ原產ト言ハレ種々ノ園藝品ノ親トナツテヰルガ、觀察シタ本品ハ殆ド原種ニ近イモノト思ハレル。小笠原島デハ父島ト母島ニ普通ニ栽培セラレ、所ニヨツテハ半野生的ニナツテ居ル。同島デハ葉ハ冬期モ枯死シナイ。　（津　山　尙）

○尾張犬山附近ノ地衣

地衣ヲ採集スル爲ニハ誰レモ先ヅ高山ノ所謂地衣帶ト稱スル地區ヲ目指シテ行クノハ常識デアル、サリトテ低地ノ地衣相ヲ閑却シテハ一地方ノ地衣フロラハ何時迄モ完成シナイノデアル。本年ノ夏ハ所用ノ爲ニ遠征ガ不可能デアツタノデ少閑ヲ利用シ尾張犬山附近ノ木曾川沿岸ヲ採集シタ。其第一ノ目標ハ所謂日本ライント稱スル區域ノ河中ニ突出スル岩石デ豫想ニ違ハズみたきのり (*Thyrea hondana* A. ZAHLBRUCKNER),(本誌第 7 卷 275 頁) ノ大群落ガアリ、又 *Heppia* GUEPINI (Del.) NYL (本誌第 7 卷 325 頁及第 10卷 683 頁參照) ト覺シキモノヲ多量ニ得タ。嘗テ記載シタ *Heppia japonica* Y. ASAHINA ニ比ベルト葉體ガ鳶色デ黑色デハナク且ツ粉子モ楕圓形デ紡錘形デナイ、サレバトテ歐洲產ヤ滿洲產ノ *H. Guepini* ニ全ク一致ハシナイガ目下ノ所デハコレト同定スヨリ仕方ガナイ。又此處ニハかはいはたけ (*Dermatocarpon miniatum*) ガ非常ニ多ク蕃殖シ、日本ラインノコースヲ舟デ下リツヽ岩石ノ水邊ニ近キ部位ヲ凝視シテ居ルト幾ラデモ大群落ヲ見付ケルコトガデキル、第二ノ目標ハ木曾川ノ兩岸ニ連續スル高サ 100-200 米位ノ丘陵デアル、コヽニハ主ト


犬山橋ノ上流木曾川中ノ岩石がはいはたけノ群落アリ
（日下綱治撮影）


同上ノ一部ヲ稍々擴大、扁平ナル着生物ハ盡クかはいはたけ
（日下綱治撮影）